

## 2019年度第1回技能試験実施委員会 議事録

日時：2020年1月20日（月）14:00～17:00

場所：地盤工学会 3階中会議室

出席者[敬称略]：12名（日置，澤，平，中澤，中山，藤原，若杉，渡邊，城野，中川，林，吉泉）  
内容

### 1. 2019年度の報告書について

#### ○全体

- ・令和元年度を2019年度に統一した。
- ・1.3 実施期間(p.2)および p.84 で, ”令和元年度 “は”2019年度” に修正する。
- ・奥付けの, ”令和元年度 “は”2019年度” に修正する。

#### ○技能試験編

- ・実施試験の記載順を次のように変更する。(表紙, p.2)
  - 土粒子の密度試験 (JIS A 1202:2009)
  - 土の粒度試験 (JIS A 1204:2009)
  - 土の湿潤密度試験 (JIS A 1225:2009)
  - 土の一軸圧縮試験 (JIS A 1216:2009)
- ・硬質ゴム製供試体の硬さは“NBR50”のものを購入。報告書には, 硬さは記載しないこととした。(p.4)
- ・図 3.4 “配布” → “配付” に修正。(p.7)
- ・均質性評価指標  $ss/\sigma^2$  の  $\sigma^2$  は技能評価 (z スコア) に用いている四分法に基づく標準偏差 ( $Q3 - Q1$ )  $\times 0.7413$  を用いるべきである。(p.8, 城野氏からのコメント)
- ・本年度の報告書では, 試験結果の有効数字の考え方について記載した。(p.13)
- ・表 5.2, 表 5.3, 表 5.4 の試験機関間の z スコアと試験機関内の z スコアは削除する。また, 試験機関間の z スコアと試験機関内の z スコアの比較図はなし。(p.16, p.19, p.22)
- ・表 5.7 表の枠線の一部が細線になっているので修正。(p.31)

#### ○アンケート編

- ・実施試験の記載順の変更に伴い p.39 と p.40 を入れ替える。  
p.39 表 6.4 湿潤密度試験, p.40 表 6.5 一軸圧縮試験
- ・全体の取りまとめについて 円グラフの表記について, たとえば図 6.2 今後の参加の意思 b. 特に参加したいと思わない 0% のように 0% の場合, その項目は表示しない。
- ・p.60 図タイトル “6.59 分散剤の種類” が抜けている。
- ・p.67 “6.3 土の湿潤密度試験” → “6.5 土の湿潤密度試験” に修正。  
“6.3.1 試験者について” → “6.5.1 試験者について” に修正  
“6.3.2 試験方法について” → “6.5.2 試験方法について” に修正
- ・p.72 “6.4 一軸圧縮試験” → “6.6 一軸圧縮試験” に修正。  
“6.4.1 試験者について” → “6.6.1 試験者について” に修正
- ・p.73 図 6.107 載荷速度 については説明文中にアンケートの設問(p.37)の記号に誤りがあったことを記載する。
- ・p.73 文中 “℃” が “□” に文字化けしているのを修正する。

## 2. 2020年度以降の運営方針について

### ○委員会経費に関する検討

- ・理事会より、ここ数年の事業規模（収益）の拡大が評価され、さらなる収益増が求められている。
- ・委員会としては、参加費の大幅な増額には踏み切らない。参加機関数の減少やそれに伴う収益減が懸念されるためである。
- ・委員会としては、事業規模（収益）の拡大を利益増として捉え、以下の取組みを三段構えで覚悟し準備しておきたい。
  - ① 2020年度（2019年度実施分）以降の「報告会」は、関西（例えば、関西地盤環境研究センター）で行う。講師の出張旅費を抑えるためである。
  - ② 2021年度（2020年度実施分）以降の「報告会」は内容を充実させ（例えば、施設や試料の作製状況を見学してもらう、昼食付とするなど）、それに伴い参加費を30,000円（消費税込）に値上げしたい。僅かではあるが、事業規模（収益）の拡大を図りたい。
  - ③ 報告書の電子化も考えておく。次年度のアンケートで参加機関の意見を伺いたい。

## 3. 2020年度の技能試験について

- ・実施時期は繁忙期を避けてほしいとの希望もあり、実施時期を検討する。
- ・大学、高専の参加を促す。
- ・2～3月に幹事会を開催し、幹事会での成案（実施内容、参加費など）を委員会に諮る（メール審議）。

## 4. 第55回地盤工学研究発表会への投稿について

以下の内容・発表者で投稿することを確認した。

- ・配付試料の均質性について＜口頭発表：澤＞
- ・付与値の妥当性、正規性について＜口頭発表：中山＞
- ・アンケート（ふるい分析・沈降分析）＜口頭発表：沼倉＞
- ・アンケート（ゴム供試体の一軸圧縮、湿潤密度）＜口頭発表：若杉＞
- ・アンケート（技能試験の動向ほか）＜口頭発表：中澤＞

## 5. その他

報告書完成に向けての工程を確認した。

- ・1/20～1/24 委員会内で報告書の内容確認
- ・1/28～ 基準部メール審議（1/31締切で依頼する）
- ・2/3 事務局・森田様に完成版送付

（文責：藤原）